

# 夕張川かわら版

「夕歩道」とは  
夕張川と流域住民をつなぐ  
川の道です

# 夕歩道

平成19年初春

其の八

## 川遊び入門 川遊びの心得

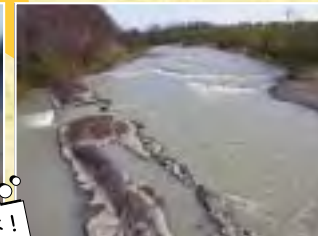
魚を捕ったり、カヌーに乗ったり、川には大人も子どももワクワクの遊びがいっぱい！  
また、鳥や植物などたくさん生き物にも出会えます。  
そんな楽しい川ですが、油断をすると大変なことになるりますよ。

### 川で楽しく、遊ぶために

幾春別川水辺の楽校では、水位の変化がわかるように色分け（水位ごと）した棒を立てています。



多良津橋から上流をとらえました



3枚とも同じ場所だよ！

川で遊ぶ時は、川にある石や植物などを目印に、水位の変化に、つねに注意しましょう！！

今回は、建設中の夕張ニューパロダムを見学しました。ダム現場見学は、平成15年にも行われましたが、平成17年度に本体工事に着手したことから、現在の状況を見てみたいという委員のみなさんの要望が反映されました。



#### 夕張ニューパロダム

現在、農業用と発電を目的として使用している大夕張ダム。その大夕張ダムの下流に、新しく「夕張ニューパロダム」が誕生します。洪水調節・流水の正常な機能の維持・かんがい用水・水道用水・発電を目的とした多目的ダムです。ダムの大きさは大夕張ダムの1.5倍、ニューパロ湖の総貯水量は約5倍と、スケールも大きく生まれ変わります！

骨材製造設備。ダンプトラックとベルトコンベアで運ばれた原石が山積みになる



夕張ニューパロダムは大夕張ダム堤頂より約40m高くなる



### 第10回 夕張川流域会議が開催されました

日時／平成18年11月14日  
場所／夕張ニューパロダム周辺

夕張ニューパロダムの情報は、石狩川開発建設部ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.is.hkd.mlit.go.jp/08isiken/02genba/33yubari/index.html>

これまでの夕張川流域会議の協議内容も、石狩川開発建設部ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.is.hkd.mlit.go.jp/08isiken/02genba/23ebetu/yuubari/index.html>



**ヒント**  
1は冬でも凍らないきれいな水だよ！  
2と3は冬には凍るよー  
※答えは裏面最後です。

### 問 夕張川クイズ

夕張川は、大夕張ダムから下流に流れて、千歳川に注ぎます。



水面にはカモの仲間がいっぱい！

## 夕張川の生き物たち

夕張川にはたくさんの鳥がいるようです。写真は、去年の春に撮影したガン、カモ、ハクチョウの仲間たちです。野鳥観察グループ「おっ鳥クラブ」の調査によると、栗山町付近に飛来し始めたのは、ほんの25年くらい前とのこと。それまで鳥たちが利用していた場所が使えなくなり、夕張川を使うようになったと考えられるようです。夕張川の水環境は、鳥にとっても大切なんですね。



生き物たちのこと、ちょっと教えて

#### ガン、カモ類

カモ科に属するガン、カモ、ハクチョウ類の総称。日本に飛来するガンカモ類の多くは、ユーラシア大陸の中高緯度地域で繁殖し、冬に冬鳥(\*)として、日本の河川や湖沼に飛来します。カルガモなど一部の仲間は、留鳥(\*)として渡りをしないものもいます。

#### \*渡りの区分について

- 留鳥: 年間を通じて同一地域に留まる鳥
- 夏鳥: 春に南方の越冬地から飛来して日本で繁殖、秋に南方へ帰る鳥
- 冬鳥: 秋に北方の繁殖地から飛来して越冬し、春に北方へ帰る鳥
- 旅鳥: 北方の繁殖地と南方の越冬地を往復する途中、春秋だけ出現する鳥

参考:「川の生物」リバーフロント整備センター



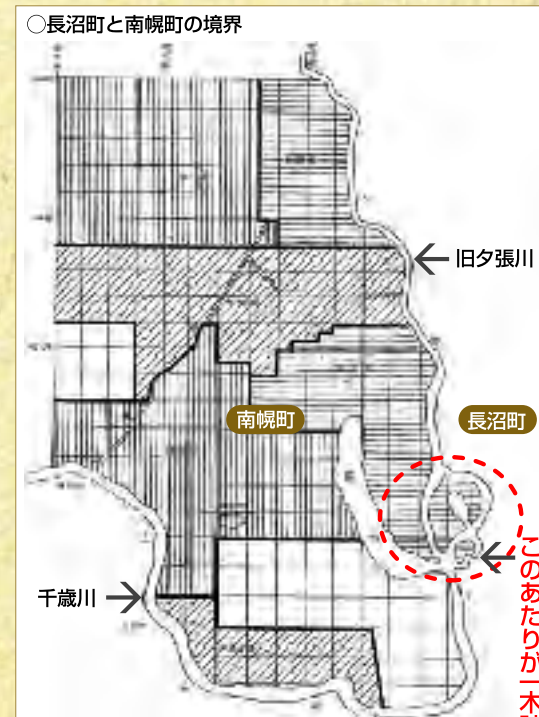
夕張川沿いの水田で採餌するハクチョウやガン。頭を泥だらけにして餌探りに夢中です。あれ？中段写真のガンは、こちらに気づいて警戒している??

## 川と牛蒡

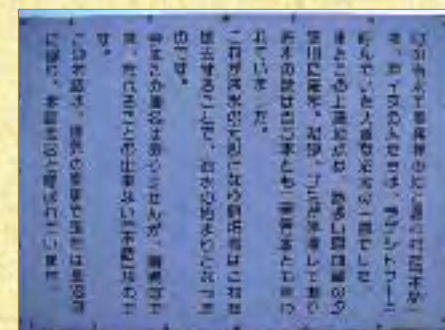


現在の「木詰」付近の様子

むかしから川は、となり合う町の境界になることが多いようです。長沼町と南幌町の境界は旧夕張川に沿って決められていますが、洪水で境界が変わることもあったそうです。



明治40年南幌町小学校通学区域図より  
参考文献: 南幌町史、空知のアイヌ語地名考 [空知地方史研究協議会] 1998年



「木詰」の由来を説明する立て看板

残っています。かつてここは、「木詰まり」、つまり川に樹木が溜まり、川の水があふれ、川が半円状に広がったところだそうです。また、近くには鶴沼やラプシトウと呼ばれる広い沼がありました(この川筋の変化で孤立した南幌町の同地区は、のちに町の境界を変更して、現在は長沼町に属しています)。

# 生態学的混播・混植法の手順

生態学的混播・混植法は、「多様な在来種が混交する自然林」を再生するため、その地域にある種を採取し、苗をつくり、植えていきます。自然界では、種は、風や動物によって運ばれます。種の性質を良く考えて、その種の重さで直播きか、ポット苗かを決めていきます。



近くの山で種の採取



種を分けます。



軽い種(ケヤマハンノキ)を取っています。足でつぶして殻を取り除き、ザルで濾しています。



ポットに入れる土づくり(軽石、碎石、赤玉土、腐葉土、ミズゴケを混ぜる)



軽い種はポットに入れて苗をつくります。



ミズナラなど重い種は、直播き



大きくなってね～

## 樹木と川のいい関係♪

樹木は、雨や雪を地下へ溜め込む動きがあるため、洪水時の水量を減少させます。また、無降水期もきれいでミネラルを含んだ豊富な水を湧出します。「森が川を育む」一樹木がつくるこのような健全な水環境は地域の生態系、地域の安全、人間の健康にとっても重要なのです。

参考:「住民参加による自然林再生法」「生態学的混播・混植法の理論 実践 評価」岡村俊邦

# 長沼町と栗山町のみなさんで植樹会をしました

## ～みんなで作る、自然林～



- 長沼町**
- 日 時:平成18年10月1日(日)
  - 植樹場所:長沼町西5線南2番地(馬追運河そば)
  - 参加者:リバーネット21ながぬま・緑の少年団・長沼町各団体等

- 栗山町**
- 開催日:平成18年10月9日(月)
  - 植樹場所:栗山町ハサンベツ
  - 参加者:栗山町いきものの里づくり推進協議会・栗山町民

『石狩川流域1人1本300万本植樹運動』(※)が、長沼町と栗山町で行われました。この植樹会は、人間の開発によって失われてしまった自然林をもう一度蘇らせるため、地域の住民が中心になって取り組んでいこうというものです。植樹法は、北海道工業大学岡村俊邦教授が提唱する「生態学的混播・混植法」です。自然林とは、人工林のように人間が特定の目的のために植えた林ではなく、その地域に自然に育った林で、さまざまな動物植物を守り育て、水を生み出す大切な場所なのです。

未来のため、地球のため、私たちのふるさとのために、もっと自然林を増やしましょう。

### \*石狩川流域1人1本300万本植樹運動

石狩川地域では、地域の46市町村長からなる「石狩川サミット」において水と緑の回廊づくりが申し合わされ、流域住民300万人の一人一本というコンセプトのもと「石狩川流域300万本植樹運動」を財団法人石狩川振興財団が中心となり、関係自治体や流域住民参加のもとに平成7年度より植樹運動を開始しています。17年度までで、延べ5万人の方々によって約38万本の木が植えられています。



いい天気になりました♪ 砂利の円の中に植えます。



こちらが岡村先生!



ひとつの円に10種類程度の苗が植えられます。砂利を敷いたのは、雑草がすぐに混入しないように、また乾燥と浸食を防ぐためです。



1年くらい経つと、こんな感じ

1年経つと、樹種によって成長に差が出てきます。あとは自然競争にまかせるだけです。



「あれ? どこに植えたっけ?」そんなことがないように、植えた場所を記録して観察します。

「よしよし! よしよしあー!」種集めから植樹まで、子どもも大人も、みんなできれます。

